

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】…①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

パソコンを使う立場の主張

丸山 ①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどろだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができます。作業に取り組みやすいと思います。

大野 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

司会 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

手書きの立場の主張

関口 ③はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

平川 ④私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。

司会 ④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「**ア**」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「**ア**」から、質問や意見をお願いします。

手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「**ア**」について

林 ⑤丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れていない人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

丸山 はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていていると思います。

谷 丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

丸山 確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。

司会 ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

あなた 大野さんの発言に対して **イ** があります。

（討論会が続く）

※ 問題は、次のページに続きます。

平成26年度 B 1

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】…①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

丸山 ①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどろだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができますので、作業に取り組みやすいと思います。

大野 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

パソコンを使う立場の主張

司会 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

関口 ③はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

平川 ④私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。

手書きの立場の主張

④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。

司会 一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「**ア**」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。

では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「**ア**」から、質問や意見をお願いします。

林 ⑤丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れていない人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

丸山 はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていていると思います。

谷 丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

丸山 確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。

司会 ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

あなた 大野さんの発言に対して **イ** があります。

手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「記念に残る卒業文集のあり方」について
あなた
イ
（討論会が続く）

※ 問題は、次のページに続きます。

一 【討論会の様子】の中の司会④の **ア** の中には、丸山さん①と平川さん③の発言に共通する観点が入ります。ふさわしい内容を、二人の発言に共通する言葉を使って、十二字以内で書きましよう。

解答らん (例)

作業への取り組みやすさ

二 【討論会の様子】の中の林さん⑤の質問は、どのようなねらいで説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで

- 1 相手の主張の内容と自分の主張の内容との共通点を知ろうとして
- 2 相手の主張に対する自分の考えが理解されているかどうか確認
- 3 相手の主張の中
- 4 相手の主張の中

解答らん **3**

三 あなたは、「討論立場から「質問」かのどちらかを選ん

- (条件)
- 大野さん②のする言葉は二十
 - 書き出しの文は字数にふくむ

解答らん

(正答の条件)
次の条件を満たして解答している。

- ① 手書きの立場に立って質問、意見のどちらかを選択した上で、その内容を書いている。
- ② 大野さん②の発言の中の言葉を「 」を使い、25字以内で引用して書いている。
- ③ 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。

(正答例)

- ・ (大野さんの発言に対して) 質問 (があります。)
「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところがありましたか。(94字)
- ・ (大野さんの発言に対して) 意見 (があります。)
パソコンであれば、「文字の形や大きさがそろ」と言いましたが、手書きでも原こう用紙のますに合わせていねいに書けば、読みやすい文集になると思います。(94字)

(正答の条件)
次の条件を満たして解答している。

- ① 二人の発言に共通する言葉を使い、以下の内容をまとめて書いている。
 - a 作業
 - b 取り組みやすい
- ② 12字以内で書いている。

(正答例)

- ・ 作業への取り組みやすさ (11字)
- ・ 作業への取り組み (8字)

例 大野さんの発言に対して質問があります。

「去年の卒業文集には読みにくかったです。また、文字以外に読みにくかったところはありませんか。また、どの部分が読みにくかったですか。」